

令和6年 第2回 定例会発言通告整理表（受付順）

No.1

発言順	発言者氏名	発言通告内容	答弁者	備考
1	能登 ゆう	<p>「森林を活かすしくみづくりについて」</p> <p>令和元年度より、市町村による森林整備等の新たな財源として「森林環境譲与税」の譲与が、市町村が私有林の経営管理を受託する仕組みとして「森林経営管理制度」が始まりました。</p> <p>本村において総面積の88%を占める森林が適切に管理され、環境保全、防災、水源涵養などといった、森林の持つ多面的な機能が豊かに活かされていくようお願い、村の取り組みについて伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林環境譲与税の活用状況について、また今後の活用方針について伺います。</li> <li>・所有者不明林、所有者の不在村化や高齢化による管理への影響(手入れ不足)について村内の現状を伺います。関連して、森林経営管理制度の活用について伺います。</li> <li>・森林管理によるゼロカーボン施策について、取り組みと進捗状況を伺います。</li> </ul>	村 長	
		<p>「ともに暮らす地域づくりについて」</p> <p>コロナ禍を経てインバウンド需要が戻り、また慢性的な国内の人手不足を背景として、外国人居住者が村内でも急激に増えました。今年の3月1日時点での集計では日本人959人に対し外国人が423人、全人口の約3割が外国人という状況でした。直近の6月1日時点でも185の方が居住され、人口の1.6割を占めています。季節的な「労働者」としてではなく、「生活者」として、ともに暮らせる地域づくりを体系的、計画的に進めていく必要を感じます。</p> <p>ひと言で「外国人」といっても国籍、在留資格、年代・世代、居住地域、経済状況は多様であり、それぞれの背景に寄り添った対応が、居住地の自治体には求められています。</p>	村 長	

令和6年 第2回 定例会発言通告整理表（受付順）

No.2

発言順	発言者氏名	発言通告内容	答弁者	備考
		<p>平成28年に策定された「第4期赤井川村総合計画」には、「国際交流」という項目はあるものの、多文化共生や外国人関連の施策は見当たりません。</p> <p>多文化共生の推進に係る指針や計画、施策の必要性について、村長のお考えを伺います。</p>		